

■ 貴社（ご回答いただける事業所）について教えてください。

業 種	①製造業	② 非製造業
事業所形態	①工場 ③その他（	② 業務用ビル（病院・ホテル・商業施設・事務所等） ）

革新的エネルギー・環境戦略では、原子力発電に対して3つの原則（40年での廃炉・原子力規制委員会の審査による再稼働・新增設の禁止）が定められています。

問1 40年での廃炉の原則についてどう思いますか。

- ①
②
③
④
- もっと短く
すべき
妥当
もっと長く
してよい
40年固定ではなく、安全
基準を設けて判断すべき
- ⑤ わからない・その他（

【回答理由】・・・問1で回答された部分のみ回答ください



（複数回答：あてはまる理由に全て○をつけてください）

問1の回答	理由
① もっと短く	i 経済への悪影響は心配だが、安全性への不安の方が大きいから ii どれだけ安全審査をしても安心できないから（すぐに廃止すべき） iii 使用済燃料処理等、事故時の安全以外にも問題が多いから（すぐに廃止すべき） iv その他（
② 妥当	i 40年の運転には実績があるが、それ以上は安全性の低下が不安だから ii 経済への悪影響を抑えて、徐々に原発を低減していく上で妥当だから iii 古い原発を使い続けるよりも、新增設した方が安全だから（新增設には賛成） iv その他（
③ もっと長く	i 安全性は技術の向上と規制委員会のチェックで担保できるから ii 日本のエネルギーコストを低減させるという点で有利だから iii 日本に原子力は一定の割合が必要だが、今後、新規原発の立地は困難になると考えられ、現存する原発を有効利用する必要があるため iv その他（
④ 安全基準を 設けて・・・	i 部品交換等のメンテナンスで安全基準をクリアしているなら、40年という年数にこだわる根拠がないから ii 40年経過していなくても、安全基準をクリアしていない原発には積極的に廃炉を勧告していくべきだから iii その他（

問2 新增設の禁止の原則についてどう思いますか。

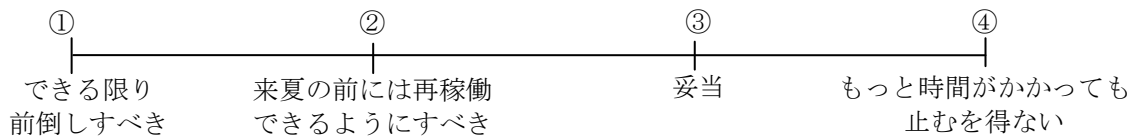
- ① 例外なく新增設は禁止すべき（着工済・計画中のものも含めて）
- ② 既に着工済みの原子力発電所までは許可しても良い
- ③ 新增設の申し入れを完了し、計画が公表されている原子力発電所までは許可しても良い
- ④ 経済活動や安定供給等に悪影響がないように一定の新增設を認めるべき
- ⑤ わからない・その他（)

【自由記入】問1、問2を選択した理由について、他にご意見があればご記入ください。

原発再稼働時期について、原子力規制委員会の安全基準審査の開始は来年夏ごろ（H25.7月）※となり、再稼働手続きはこれ以降となる可能性があります。

※ H24.10.3 原子力規制委員会 委員長記者会見（原子力規制委員会 HP）より

問3 このスケジュールについてはどう思いますか。



- ⑤ わからない・その他（)

【回答理由】・・・問3で回答された部分のみ回答ください



（複数回答：あてはまる理由に全て○をつけてください）

問3の回答	理由
① できる限り前倒し	<ul style="list-style-type: none"> i コスト・安定供給への影響が大きいため（電力料金上昇、来夏の節電等） ii 昨年夏以来、既に時間をかけ過ぎているから iii 大飯原発のように、再稼働後に安全審査を実施しても問題ないと考えるから iv 審査の計画を前倒ししておかないと、実際の再稼働は更に先になるから v その他（)
② 来夏前まで	<ul style="list-style-type: none"> i 来夏は、節電や計画停電を避けたいから ii 年度末までに委員会が大枠を示すことになっており、専門家の判断だけなら本来年度末までで可能だから（一般への意見聴取等は不要） iii コストへ影響と安全性の両方が心配であり、妥協点として来夏前と考えるから iv その他（)

③ 妥当	i 安全性以外の要素を考慮すべきではないから（コスト上昇や節電は止むを得ない） ii 国が「新基準の策定を委員会発足から10カ月以内」と決めたことだから iii 新基準策定後、すぐに審査すれば、8月の再稼働は期待できると考えるから iv その他（ ）
④ 時間がかかっても止むを得ない	i 安全性以外の要素を考慮すべきではないから（コスト上昇や節電は止むを得ない） ii 原子力規制委員会は「やや殺人的なスケジュール」と言っており、余裕を持たせるべきだから iii 原発は極力停止させておくべきだから iv その他（ ）

問4 今回の原発再稼働判断について、国・原子力規制委員会どちらが責任をもって判断するのか意見が分かれています。どちらが適当だと思いますか。

- ① 原子力規制委員会が責任を持って最終判断をすべき（安全審査のクリア＝再稼働許可）
- ② 原子力規制委員会が安全審査をした後、今回は国が責任を持って最終判断をすべき
- ③ その他（ ）

問5 エネルギー・環境政策に関して国へ要望したいことがあれば自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。ご回答いただいた調査票は
 FAX（092-724-2102）にてご送信ください。
 締切：11月9日（金）